

## 労務管理研究会宿泊研修会開催～氷見温泉郷（株能作（鋳物）工場見学～

令和4年11月18日～19日〈研修内容：パワーハラスメント・カスタマーハラスメントについて〉



手記：貝和労研運営委員

上野駅を出発してから、およそ1時間半、途中の駅を4つほど過ぎて北陸新幹線は富山駅に到着する。晩秋の北陸は、穏やかな気候で東京の小春日和を想起させる。

東には越後との県境に険しい海岸線を待ち歴史的な結びつきの強い加賀、京都にも緩やかな、丘陵地で区切られているうえ、後立山と呼ばれる立山連峰では、長野方面からの往来も遮断している。厳冬期はこの日の暖かさから想像できないほどの寒風が吹き荒ぶ、北陸の一大経済都市である。

陸路が隔絶されている反面、海路から受ける恩恵は大きく、北回り航路の要所として古くから港町の繁栄を見せている。隣県の新潟や京都はもちろん、山形秋田といった東北の生産地から送られてくる物資の中継地点として、重要な土地であった。

古くから独立した経済圏を築き上げた北陸の地は、有名な富山の菓売りを始め、立山アルミなどの金属工業大陸からの輸入品などを扱う貿易業、そして、立山連峰から豊富な水資源を利用した発電やそれを利用した金属工業が発達してきた。

三角州を利用した農業や、広大な湾を漁場とした伝統的漁業などが、その繁栄とゆたかさを後ろから支えている安定した地方経済からは、江戸初期より続く企業などが存在している。しかしながら、昨今の経済的事情や社会の変革によって事業継続継承といった点で大いに苦勞をしたとそして努力を行っている様子が見える。



池田屋安兵衛商店（富山の菓売り）



株式会社能作 工場見学①

忙しい事業主の方を応援します！

豊島産業協会の労働保険事務組合をご利用ください。

豊島産業協会は厚生労働大臣の認可を受けた労働保険事務組合です。

☆労災保険に加入できない事業主やその役員、家族従業員なども、  
労災保険に特別に加入することができます。

☆労働保険料の金額に関係なく3回に分割納付ができます。

☆労働保険事務処理の委託によって大幅な作業量、人件費の削減が可能です。

委託できる事業主は使用労働者が300人（卸売・サービス業は100人、金融・保険・不動産業・小売業の場合は50人）以下であれば委託できます。

お問い合わせ

一般社団法人 豊島産業協会

☎03-3981-1540



# アスリートを支える、 資格がある。



リポビタンDは、アンチ・ドーピング認証を取得しています。

## リポビタンD

指定医薬部外品 疲労回復





株式会社能作 工場見学②

今回労務管理研究会、富山研修会において、見学を行った企業では金属加工の技術を古くからのものを生かしながら、新たな形へ昇華させていることに加え、受け継がれた製法技術を引き継ぐ。後継者育成のノウハウを構築している。若手の人材確保が難しいと言われる今日においても職人の年齢層は多岐にわたりそれぞれが古くからの技術と新しい時代の流れの目的、意識を持って仕事に臨んでいる。

食住が近接した地域特性や、豊富な食料資源と発展した地場産業により、地元に着住する人材が多いことが地域が持続し得る礎となっているのかもしれない。

本来の行程では、富山経済の一端を担う、湾内の漁業方法などを視察する予定であったが、当日の海峡により急遽と言う古刹、瑞龍寺を訪れることとなった。前田利常を祀ることで有名なこの寺院では、由緒ある仏閣でありながら、直接住職の話を伺うことができた。企業が続けることの難しさ、未来へ繋げることの大切さを、古より受け継いだ和尚の説得力に溢れたお話にて、この地の企業、文化がなぜ古からのものを受け継ぐことができたか、そして栄枯盛衰の激しい現代においても、伝統を受け継ぐことができているのかを垣間見ることができた。

受け継ぐことへの意識、そしてその事に早くから気づいていた故の今の繁栄があるのだと強く認識させられることとなった。現代に翻って、この難局面でも信念を持ち未来への持続可能性を信じて生きるヒントを得られる視察となった。



新湊きつときと市場



瑞龍寺

## 日本のチョコレートの歴史と共に —

創業1886年。芥川製菓は東京駒込の  
老舗チョコレートメーカーです。



芥川製菓株式会社

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-44-2  
TEL 03-3942-2021 FAX 03-3942-2006  
<http://www.akutagawaseika.co.jp/>

豊島区民の皆様へ

早く正しい情報を

株式会社 **豊島新聞社**

<http://www.toshimane.jp/shinbun/>

東京都豊島区東池袋1-21-11

電話 (03) 3971-0423 購読料3ヵ月2800円

FAX (03) 3986-4244

(毎週水曜日発行)

